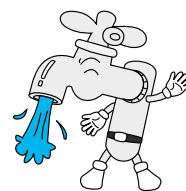
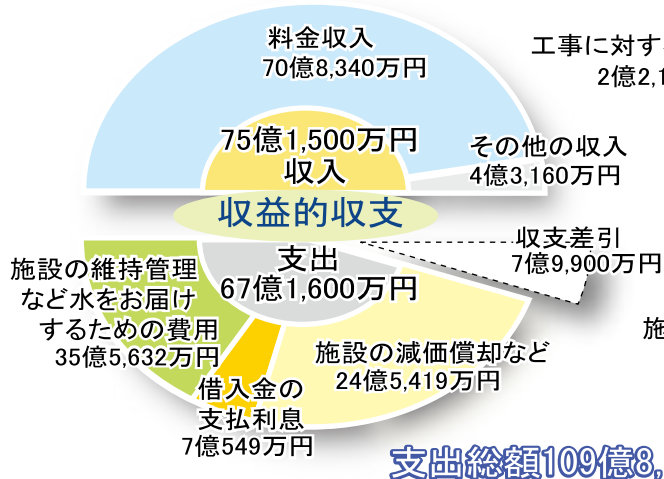


平成23年度 水道事業会計予算

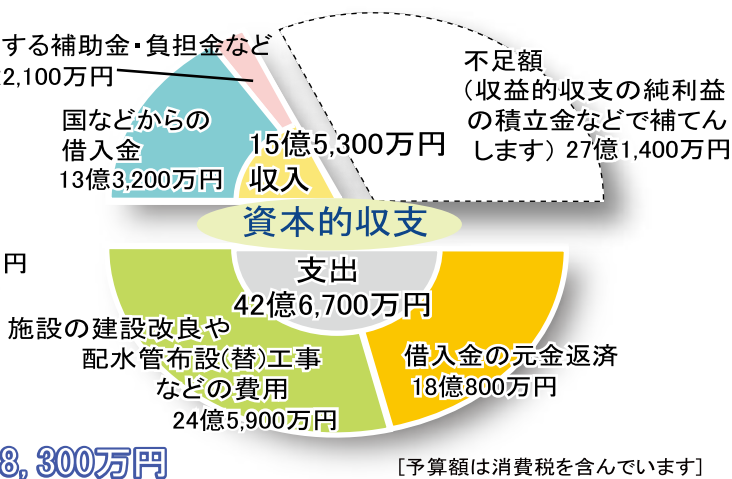
平成23年度の予算と主な事業についてお知らせします。
今後とも、効率的な事業運営に
いっそう心がけ、市民サービスの
向上に努めます。



ご家庭に給水するための収入支出



水道施設を整備・拡充するための収入支出



[予算額は消費税を含んでいます]

概要

水道料金収入は、ここ数年続いてきた使用水量の減少傾向が若干の改善が見られたことから、前年度当初予算とほぼ同額の70億834万円(対前年度比較1,000万円の減少)を見込んでいます。収益的支出予算、資本的支出予算を合わせた予算規模は、前年度当初予算に比べ1.2%、金額にして1億3,300万円減の総額109億8,300万円となりました。これは、料金徴収業務の民間委託による経費の減少や、支払利息の減少などによるものです。

また、後年度の支払利息軽減を目的とした国の臨時的な措置により、高金利の借入金を繰上償還することが承認されたため、資本的支出に1億7,224万円計上しています。

主な事業

- 送配水施設整備事業 2億700万円
水量水圧の均衡化と増強を図るため、配水管布設を2,000mおこないます。
- 漏水防止対策事業 4億3,830万円
無ライニング铸铁管の布設替を2,050m、委託による漏水調査を750kmおこなうなど漏水防止対策をすすめます。
- 災害対策事業 5億7,155万円
基幹施設等の耐震診断や口径150mm以上の基幹管路耐震化など、災害対策をすすめます。
- 増補改良事業 12億210万円
平成21年度から4年間の継続事業である旭浄水場(配水施設)更新、平成22年度から3年間の継続事業である旭浄水場(導水施設)更新、針木浄水場施設整備など施設の整備、配水管布設替・移設などの配水管整備をおこないます。
- 簡易水道施設改良事業 2億2,200万円
鏡、土佐山地区簡易水道の施設改良工事などをおこないます。
- 水源地域対策事業 1,954万円
水源かん養林取得、水源かん養林間伐、水のふるさとフェスティバルなどの水源地域との交流事業をおこないます。

キーワード

収益的収支と資本的収支



水道事業会計の予算は、「収益的収支」と「資本的収支」の二本建て予算となっています。

「収益的収支予算」は、当該年度一年間の経営活動に伴い発生する水道料金等の収益と、それに対応する費用が計上されます。費用には、人件費、物件費、動力費、支払利息等のように現金支出を伴う費用のほか、減価償却費のように現金支出を伴わない費用もあります。この「現金支出を伴わない費用」に相当する額は、収益的収支の黒字額(純利益)とともに内部留保資金として水道局内にプールされます。

「資本的収支予算」は、支出の効果が次年度以降におよぶ費用(水道施設の建設改良費など)や、長期の負債にかかる支出(企業債元金償還金)などと、これらに対する財源が収入として計上されます。一般的に支出額が収入額を上回るかたちになりますが、この不足額は収益的収支で発生した内部留保資金で補てんされることになります。また、建設改良費の財源として国などから借り入れた企業債の元金・利子の支払は、その施設の恩恵を受ける将来の水道使用者の水道料金で返済することとしています。

将来への投資である建設改良(資本的支出)を過大にすると経営を破綻させることとなり、逆に抑制しすぎると水道の安定供給が将来滞ることとなるため、バランスをとった予算としています。